

問1 太平洋赤道域の東部において、海面水温が平年に比べて高くなる状態が長期間持続する現象を何というか。この現象が発生すると、世界的な大気循環が変化し、アメリカ合衆国西部で降水量が増加する一方、東南アジアでは干ばつが発生しやすくなる。（2012年 全国公立入試 類似）

1. ダイポールモード現象      2. テレコネクション現象      3. エルニーニョ現象      4. ラニーニャ現象

問2 北アメリカ大陸の北緯45度から50度付近を西から東に横断する地形断面を想定したとき、西側の険しい新期造山帯から中央部の平坦な内陸平原を経て、東部に至るとなだらかな起伏を持つ山脈が現れる。石炭の産出でも知られる、この東部に位置する古期造山帯の山脈名を答えよ。（2011年 全国公立入試 類似）

1. カスケード山脈      2. コースト山脈      3. アラスカ山脈      4. アパラチア山脈

問3 河川が山地から平野に出る山麓部に形成される扇状地において、流速の急激な低下によって谷口付近に主に堆積する、水はけが良く、河川が地下に浸透して伏流する原因となる礫や砂などの粗粒な物質を何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 泥炭      2. 岩塩      3. 粘土      4. 砂礫

問4 極地方などの高緯度地域において、年間降水量が少ないにもかかわらず氷河や氷床が発達・維持されるのは、年間を通じて気温が低く、夏季の融雪がほとんど起こらないためである。このような高緯度地域で、降水量が少なくなる要因となっている気圧帯を何というか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 赤道低圧帯      2. 亜寒帯低圧帯      3. 亜熱帯高圧帯      4. 極高圧帯

問5 ユーラシア大陸のほぼ中央に位置し、海から極めて遠く離れているため、年降水量が約300mmと少なく、最暖月と最寒月の気温年較差が約37℃に達する顕著な大陸性気候を示す。タリム盆地の北方に位置し、古くからシルクロードの要衝として栄え、現在は新疆ウイグル自治区の首府となっている都市はどこか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. ウルムチ      2. カントン      3. チンタオ      4. ハルビン

問6 西アジアや北アフリカなどの乾燥地域において、地表での水の蒸発を防ぐために、山麓の地下水源から集落や農地まで緩やかな傾斜のトンネルを掘って水を導く、伝統的な地下水路（かんがい施設）を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. カレーズ      2. カナート      3. ファラジ      4. フォガラ

問7 地中海沿岸地域では、夏季は乾燥する一方で、冬季には比較的多くの降水が見られる。この冬季の湿潤な気候をもたらす、中緯度上空を西から東へと吹いている恒常風の名称を答えよ。（2013年 全国公立入試 類似）

1. 偏西風      2. 極東風      3. 偏東風      4. 貿易風

問8 大井川の流域景観において、上流の奥泉では山が迫る深い谷を流れる景観がみられ、中流の地名（じな）では山に囲まれつつも河原が広がる景観がみられる。これに対し、大井川が山地から平野部へと抜け、川幅が広く平地が広がる景観がみられる下流に位置する、かつて東海道の宿場町としても栄えた都市はどこか。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 金谷      2. 掛川      3. 藤枝      4. 島田

問9 日本の平野部において、かつて河川が蛇行していた旧河道や、洪水時に土砂が堆積して形成された自然堤防などの微高地に沿って、帯状に自生している樹木群が見られる。人工的に植えられた屋敷林などとは異なり、河川沿いの湿潤な環境に自然に成立したこのような樹木群を何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 防潮林      2. 河畔林      3. 防風林      4. 防砂林

問10 地球の公転と地軸の傾きにより、地球上の多くの地域では季節によって昼夜の長さが変化する。しかし、年間を通じて太陽光線がほぼ真上から差し込み、季節に関わらず昼夜の長さが常に約12時間でほぼ等しくなる、緯度0度の緯線を何というか。（2019年 全国公立入試 類似）

1. 赤道      2. 経線      3. 地軸      4. 緯線

## 答え合わせ・解説 No.9

問1	<b>答え 3</b> <b>エルニーニョ現象</b>	太平洋東部の赤道付近で海面水温が上昇する現象をエルニーニョ現象という。この現象は、貿易風（東風）が弱まることで、冷たい深層水の湧き上がりが抑えられるために発生する。これにより、世界各地で異常気象が引き起こされ、アメリカ合衆国西部では多雨、東南アジアでは少雨・干ばつなどの影響が現れる。
問2	<b>答え 4</b> <b>アパラチア山脈</b>	北アメリカ大陸の東部には、古生代の造山運動によって形成され、その後の長年の浸食によってなだらかな山容となった古期造山帯の山脈が位置している。この地域は石炭の埋蔵量が多いことでも知られる。
問3	<b>答え 4</b> <b>砂礫</b>	扇状地は、山地から平地へ出る地点で河川の流速が急激に遅くなることにより、運ばれてきた土砂のうち粒径の大きい砂や礫（砂礫）が中心となって堆積し形成される。この砂礫層は隙間が多いため水が地下に浸透しやすく（伏流）、扇中部での水不足や、扇端部での湧水帯の形成といった特徴的な水文環境を生み出す原因となる。
問4	<b>答え 4</b> <b>極高圧帯</b>	極地方などの高緯度地域は、冷やされた空気が下降するため極高圧帯が形成される。下降気流が発生するため年間降水量は非常に少なくなるが、年間を通じて気温が極めて低く、冬に積もった雪が夏の間も融けずに累積していくため、氷河や氷床が発達する。
問5	<b>答え 1</b> <b>ウルムチ</b>	ユーラシア大陸の極めて深い内陸部に位置するこの都市は、海洋からの水蒸気が届きにくいため年間を通じて降水量が少ない。また、比熱の小さい陸地の影響を強く受けるため、夏は暑く冬は非常に寒いという、気温の年較差が極めて大きい大陸性気候（ステップ気候）の特徴を示す。シルクロードの交易地として発展し、現在は新疆ウイグル自治区の政治・経済の中心地である。
問6	<b>答え 2</b> <b>カナート</b>	乾燥気候が卓越するイラン高原などの西アジアや北アフリカでは、地表での激しい蒸発を避けるため、地下にトンネル（横穴）を掘り、一定の間隔でメンテナンス用の縦穴を設けて水源から農地へと導水するシステムが発達した。イランでは「カナート」、北アフリカでは「フォガラ」、アフガニスタンでは「カレズ」などと呼ばれる。
問7	<b>答え 1</b> <b>偏西風</b>	地中海性気候区では、冬季になると気圧帯が南下するため、高緯度側を流れる恒常風の通り道となる。この風が海洋からの湿った空気や温帯低気圧を伴って地中海沿岸地域に流れ込むため、冬季に雨が降る。この西寄りの恒常風を偏西風と呼ぶ。
問8	<b>答え 4</b> <b>島田</b>	大井川の下流に位置する島田（島田市）は、大井川が山地から平野部へと出る結節点に位置し、川幅が広く平地が広がる景観が特徴である。江戸時代には東海道の宿場町（島田宿）として栄え、大井川の川越しの拠点としても知られた。これに対し、中流の地名や上流の奥泉は山間部に位置し、それぞれ河原や深い谷といった異なる河川景観を呈している。
問9	<b>答え 2</b> <b>河畔林</b>	平野部を流れる河川の蛇行や氾濫によって形成された旧河道や自然堤防は、周囲よりも水分条件が良く、特定の樹木が育ちやすい環境にある。このような場所に沿って自然に形成された樹木の列は河畔林と呼ばれる。これは、強風を防ぐために人工的に植えられた防風林や、家屋の周囲に設けられた屋敷林とは、成立要因や分布形態が異なる。
問10	<b>答え 1</b> <b>赤道</b>	地球は地軸を傾けて公転しているため、緯度によって昼夜の長さの年変化が異なる。高緯度地域ほどその変化は大きく、北極圏や南極圏では白夜や極夜が生じる。一方で、緯度0度である赤道上では、年間を通じて太陽の南中高度が常に高く、昼夜の長さは季節を問わず常に約12時間で一定となる。